



芸術文化振興基金助成事業

特別出演…外郎売の口上研究会

後継者育成発表会

令和七年度 小田原民俗芸能保存協会



入場無料
事前申込不要



令和7年11月9日(日)

開場12時／開演12時30分(終演15時20分予定)

小田原三の丸ホール 大ホール
(小田原市本町1-7-50)

主催 小田原民俗芸能保存協会

後援 神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会
小田原市、小田原市自治会総連合、一般社団法人小田原市観光協会

【出演団体】※出演順／(カッコ)内は出演予定時刻

小田原市山王原大漁木遣唄保存会 (12:40)

小田原祭囃子連絡協議会 (12:55)

(小八幡八幡神社祭囃子保存会・国府津祭囃子保存会)

根府川寺山神社鹿島踊保存会 (13:16)

曾我別所寿獅子舞保存会 (13:22)

小田原ちょうちん踊保存会 (13:39)

栢山田植歌保存会 (13:48) [映像出演・ホワイエ]

外郎売の口上研究会〔特別出演〕(14:05)

小田原囃子多古保存会 (14:30)

相模人形芝居下中座 (14:49)

令和七年度 小田原民俗芸能保存協会 後継者育成発表会

出演団体の紹介

小田原市山王原大漁木遣唄保存会

出演予定時刻
12:40

山王原大漁木遣唄は名称は木遣唄ですが、大工等が唄う木遣唄とは異なり、元は漁師が網を引き揚げの際、呼吸を合わせるために唄っていた労働唄であり、歌詞には「大漁木遣唄」と「神社仏閣数え唄」の二系統があります。

保存会として小田原市東町一丁目～三丁目及び浜町四丁目等で伝承されており、現在は同地域の鎮守である山王神社の祭礼時を中心に市内の祝祭事で披露されています。
(小田原市指定無形民俗文化財)

小田原祭囃子連絡協議会

出演予定時刻
12:55

(小八幡八幡神社祭囃子保存会・国府津祭囃子保存会)

小八幡八幡神社祭囃子保存会は平成9年に発足いたしました。4月の祭礼や納涼祭、文化祭などで演奏をしています。
現在は20～30代が中心となって指導を行い、子どもたちへ祭囃子の継承を行なっています。

国府津祭囃子保存会は、小学生低学年から60才代までの幅広い年齢層で構成されており、和気あいあいとした雰囲気です。4月に行われる菅原神社例大祭に祭囃子を奉納し、8月には地区夏まつりでも披露しています。

根府川寺山神社鹿島踊保存会

出演予定時刻
13:16

根府川地区の郷土芸能である鹿島踊と福踊を継承し、後継者を育成・指導していくことを目的に活動しています。

鹿島踊は唄と踊り（三役）が難しいため、定期練習日を設定し基本を確認しながら進めています。具体的な活動としては、毎年7月中旬の土・日曜日の寺山神社祭礼にて鹿島踊を奉納し、また、1月に実施する道祖神祭りに福踊を子ども達だけで踊ります。
(鹿島踊は神奈川県指定無形民俗文化財)

曾我別所寿獅子舞保存会

出演予定時刻
13:22

『鳴物がお囃子をリズムカルに奏でる中、獅子が勇壮に舞い、時にはコミカルな仕草を見せ、笑い面とヒョットコによるユニークな仕草に笑いも誘う』。このような獅子舞が「曾我別所寿獅子舞」です。私ども保存会は、昭和25年に結成されました。今年度は、3年前に結成されました7組が出演いたします。

(小田原市指定無形民俗文化財)

外郎売の口上研究会〔特別出演〕

外郎売の口上は、今から300年前、江戸の享保年間に二代目市川團十郎丈によって創作されたものです。口上は音声表現として、日本語が持っているさまざまな可能性を極めたもので、早口言葉の面白さ、言い回しの面白さにあふれています。外郎売の口上は小田原にある「ういろう」家の歴史と大きな繋がりがあります。この口上の持っている文化的、歴史的意義を通じて、口上は小田原を再発見する良い契機となり、小田原の文化の誇りとなっています。

歌舞伎で「外郎売」は曾我物として有名です。十三代市川團十郎丈、八代市川新之助丈の襲名演目としても華々しく披露されました。外郎売の口上研究会は、2004年に発足し、この口上を小田原の

小田原ちようちん踊保存会

出演予定時刻
13:39

お猿のかごやで馴染みの「小田原ちようちん」。このちようちんを後世に残したいとの思いから、ちようちんを持って踊ることを考案し、現在に至っています。

この形状のちようちんは、どこで作成しても、小田原ちようちんと言われ、小田原の宝物と感じて、踊り続けています。

栢山田植歌保存会〔映像出演・ホワイエ〕

出演予定時刻
13:48

栢山田植歌は、田植えをする女性達が、疲れた時に田植えの調子を取るために歌ったものです。歌詞には、農作業の様子や栢山の風景、鶴や亀のめでたい動物が詠みこまれ、豊作の祈りが込められています。

現在、手作業での田植えがほとんどなくなり、田植歌も歌われなくなりましたが、有志により会を結成し、歌い続けています。

小田原囃子多古保存会

出演予定時刻
14:30

小田原囃子の源流は江戸葛西囃子、江戸時代中期に寺町にあった「桐座」で芸人が演奏した葛西囃子を地元の青年衆が習ったものと言われています。曲目は「屋台」「昇殿」「神田丸」「鎌倉」「仕丁目」の5曲があり、基本は祭り本来の明るく勢いのある曲調ですが、哀愁たどよう情緒やどこか懐かしさを感じさせる風情のある旋律となっています。

(神奈川県指定無形民俗文化財)

相模人形芝居下中座

出演予定時刻
14:49

下中座は江戸時代より小田原市小竹地区に伝わる三人遣いの人形座です。明治末から昭和初期にかけて東京の人形遣い夫婦が小竹に定住し、東京の人形操法を伝えました。そのため東京の人形浄瑠璃の面影を伝えるとして高い評価を受け、昭和28年に県無形文化財に指定され、当時の村名から下中座と命名されました。さらに昭和55年には国の重要無形民俗文化財に指定され、活発な活動を続けています。下中座は、地域の小・中・高校で授業や部活動で伝承活動を長年続けています。卒業後に入座する者も多く、後継者育成の大きな柱となっています。

本発表会では、下中小学校下中座クラブによる人形解説と、橘中学校相模人形クラブによる『二人禿』をご覧に入れます。

(国指定重要無形民俗文化財)

出演予定時刻
14:05

文化の誇りとして広める活動に邁進しております。

毎年夏には「外郎売の口上まつり」と称して、小田原三の丸ホールの大ホールで、発表会を開催する他、東海道の各宿場や、曾我十郎五郎兄弟の祖父にあたる祐親公の故郷伊東で開催される「伊東祐親まつり」への参加、小学校や中学校での外郎売の披露や特別授業等、精力的に活動を展開しております。

「外郎売の口上」を語るだけではなく、「外郎売」を基調として様々な創作舞台を作り出し、子どもから大人まで楽しめる演目となっております。

“立て板に水ごとく”の外郎売の口上！ どうぞ皆様お楽しみください。